

単元	指導内容	評価規準
ガイダンス 「デッサン」 「ピクトグラム」 「マークのデザイン」 「環境ポスター」	美術室について、年間に制作する作品の紹介 ① デッサン基礎として、えんぴつの特徴を学び、グラデーションを作る。 ② 手が描かれた名画を選び、描く手のポーズを考える ③ 光の方向と細部にこだわって、手をデッサンする ① ピクトグラムの歴史と、身近なマークについて学び、関心を深める。 ② 身近なマークを発見し、プリントにまとめる ③ 自分自身を表すマークを考えスケッチブックの表紙に配置し、絵具で着色する。 ① 環境をよくする絵画コンクールに応募するためのポスター作りを学ぶ。 ② 意味を伝えるポスターの理解。 ③ アイデアスケッチからラフスケッチなど構想をまとめる方法を知る。 ④ 色や文字の役割を知る。 本制作は夏課題。	(態度) 鉛筆の種類や表現の幅に興味をもって制作している。 (思・表) 美しいと思う手のポーズを考え、光の方向を考えた表現ができている。 (知・技) 立体的に見えるように細部までスケッチしている。 (態度) 参考の作品の良さを感じ取り、作品に取り込もうとしている。 (態度) マークのデザインに関心をもち、日常にあるマークを発見できる。道具の準備片付けが適切に行える。 (思・表) 自分自身を由来としたマークを発想できる。 (知・技) マークの色や形を工夫し見やすく仕上げることができる。 (知・技) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。自分が発見したマークをプリントにまとめ、紹介できる。 (態度) 積極的に制作している。 (思・表) 人に伝えるために必要な確かな配色・構成をしている。 (知・技) モチーフを正確にスケッチしている。美しい平塗ができている。 (知・技) 自他の作品の良さを感じとろうとしている
「自分のくつ」 スケッチ 塑像制作 「彫刻史」	① 塑像を中心とした立体彫刻の鑑賞。 ② 自分の靴を多方向からスケッチし、形を立体的にとらえる。 ③ 紙粘土の特徴と使い方を学び、スケッチをもとに、靴らしい形と細部にまでこだわりを持って作る。 ④ 乾燥させた作品に着直、ニスを塗って完成させる。 ⑤ 作品鑑賞会、振り返り。 ① 古代ギリシャから現代彫刻までの彫刻の歴史を学び、成り立ちを理解する。	(態度) 積極的に制作している。準備片付けを適切に行い。制服を汚さないような工夫をしている。 (思・表) 普段使っているクツの特徴を掴み、愛着を持って作品を制作することができる。クツらしい形に気づき、再現できている。 (知・技) 粘土の正しい使い方を理解し、美しい作品に仕上げることができる。 (知・技) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。 (知・技) 歴史の流れと作品の特徴を知り、理解と関心を深める。
「切り絵」 「アニメーションゾートロープ」	① 切り絵について学び、モノクロのデザインを考える。 ② カッターで形を切り出す。 ③ 色紙を貼り、色鮮やかに仕上げる。 ④ 振り返り・鑑賞 ① 残像現象などアニメーションの基本的な仕組みを学ぶ。 ② ゾートロープに差し込む、10コマまたは12コマのアニメーションを作成する。 ③ 作品鑑賞後、振り返り。	(態度) 積極的に制作している。完成作品を提出できる。準備片付けができる。 (思・表) 自分なりの見方で作品の構想を練っている。 (知・技) 授業で学んだ技法を生かして制作している。 (態度) 自他の作品の良さを味わい、言葉で感想を表現できている。 (態度) アニメーションに関心をもち積極的に制作しようとしている。 (思・表) 動きの基本を理解し、工夫し発想することができる。 (知・技) 絵をよりきれいに動かすことができる。 (知・技) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。

参考図書

「教科書、美術2・3、上・下」

副教材「美術資料 東京の美術」他